

厚生労働省北海道労働局発表
平成28年10月18日

【担当】

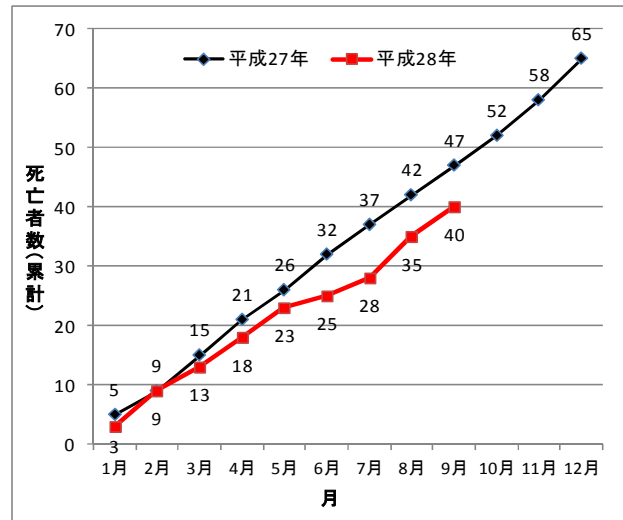
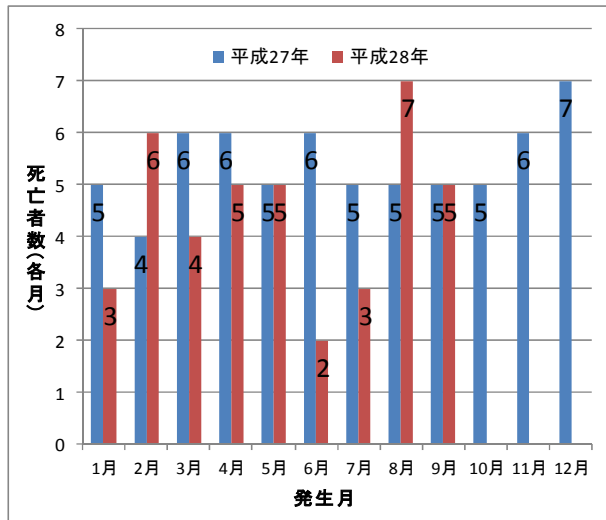
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比7人減少 死傷労働災害は前年同期比1.2%減少

－ 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年9月末現在速報値） －

1 労働災害による死亡者数（1月～9月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年9月末現在速報値で40人と、前年と比べ7人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「建設業」が16人（全体の40.0%、前年同期比5人減）、「製造業」が5人（全体の12.5%、前年同期比2人増）、「農業・畜産業」が5人（全体の12.5%、前年同期比4人増）、「陸上貨物運送事業」が3人（全体の7.5%、前年同期比1人減）、「林業」が3人（全体の7.5%、前年同期比同数）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が11人（全体の27.5%）、「激突され」が7人（全体の17.5%）、「交通事故（道路）」が7人（全体の17.5%）、「はさまれ・巻き込まれ」が5人（全体の12.5%）、「崩壊・倒壊」が4人（全体の10.0%）、「おぼれ」が3人（全体の7.5%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～9月）

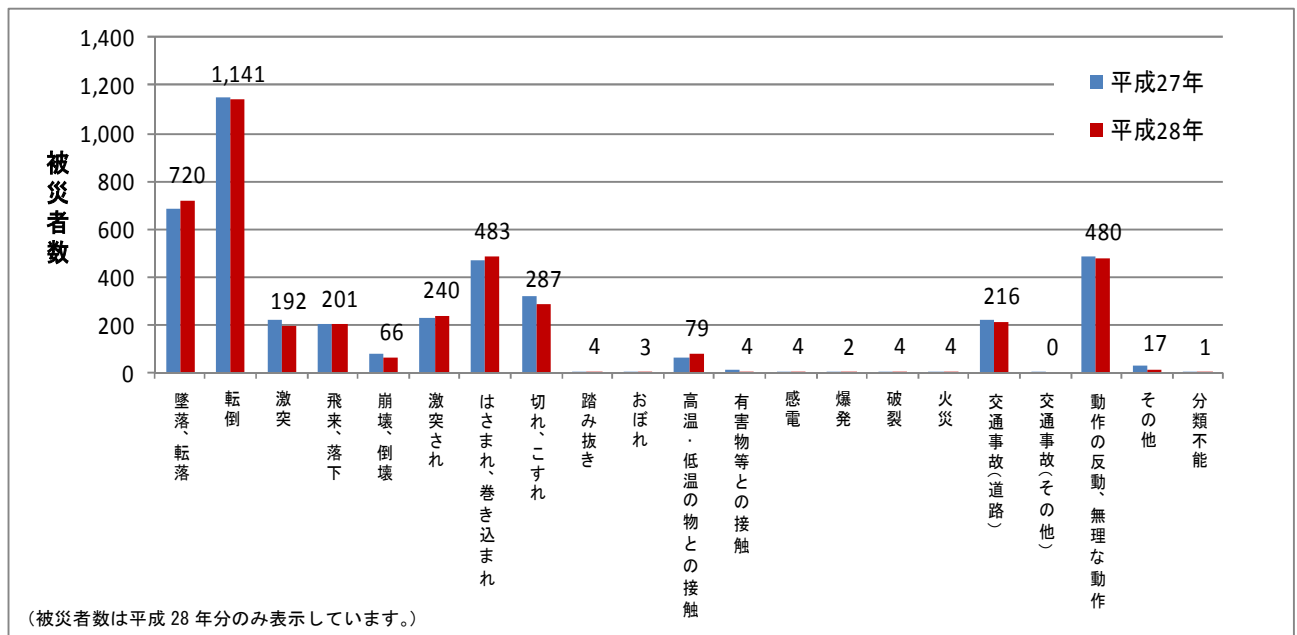
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年9月末現在速報値で4,144人と、前年同期比50人減（1.2%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料4】

業種別に見ると、「製造業」が801人（全体の19.3%、前年同期比26人増）と最も多く、次いで「商業」が579人（全体の14.0%、前年同期比26人減）、「建設業」が568人（全体の13.7%、前年同期比57人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が471人（全体の11.4%、前年同期比23人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,141人（全体の27.5%）と最も多く、次いで「墜落、転落」が720人（全体の17.4%）、「はさまれ、巻き込まれ」が483人（全体の11.7%）、「動作の反動、無理な動作」が480人（全体の11.6%）、「切れ、こすれ」が287人（全体の6.9%）、「激突され」が240人（全体の5.8%）、「交通事故（道路）」が212人（全体の5.1%）となっています。



3 北海道労働局の対応

（1）建設業では、建設工事追い込み期にあたる10月から12月に労働災害が多発する傾向にあることから、10月1日から12月31日を「建設工事追い込み期労働災害防止運動」として取組を展開しています。

（2）10月初めに道南の高速自動車道でトラック同士が正面衝突し、3人が死亡する交通労働災害が発生しています。台風の被害により鉄道や主要国道が寸断され、復旧するまでの間、トラックによる代替輸送や迂回路の通行を余儀なくされるなど、陸上貨物運送事業での交通事故の増加が懸念されます。北海道労働局では、北海道警察本部及び北海道運輸局と連携し、関係業界団体を通じて、交通労働災害防止対策の取組の徹底を要請しています。

【添付資料】

- 1 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 3 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況
- 5 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 6 署別・業種別災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）